

2019年8月6日

災害時対応訓練実施について**～災害発生時における、船舶の新たな可能性を探る～**

商船三井フェリー株式会社（本社：東京 社長：大江 明生）は、8月5日、大洗港フェリーターミナルに停泊中の当社船「さんふらわあ ふらの」の車両甲板内にて、茨城ACLS協会（本部：茨城 代表：安田 貢）・橋本救急活動法務研究所（本部：東京 代表：橋本 雄太郎）・太陽工業株式会社（本社：東京 社長：荒木 秀文）が主催する災害時対応訓練実施に協力しました。

災害発生時において、船舶を医療サービス提供の拠点として使用することを想定し、実際に医療機材搬入及び医療用テント数種を設営する訓練を実施しました。

当社は、従来の枠に捉われることなく、船舶のもつ新たな社会貢献性を積極的に探究していきます。



緊急車両を車両甲板内へ搬入



識別救急用大型エアテント



大型エアテント内での訓練風景



透析用エアテント

以上

=本件に関する問合せ先=
商船三井フェリー株式会社
船舶部 TEL：03-6774-6884
FAX：03-6774-6904